

知財ist研修2017シラバス

【知財ist研修2017】	
課程	経営課程
科目	R&D・標準化戦略と知的財産戦略
副題	～標準必須特許を巡る世界動向とIOT時代の知財の課題を検討する～
日程	2018年2月14日（水）10:00～17:00
講師	三菱電機株式会社 常務執行役 知的財産渉外部長 弁理士 加藤 恒 氏
受講料（1日間）	会員18,000円、一般22,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間）会員500,000円、一般600,000円 経営課程4日間おまとめ受講料（4日間）会員66,000円、一般82,000円
説明	<p>現代は研究開発と標準化が同時進行で行われることが一般化したため、標準をカバーする必須特許が多数存在することになり、その取扱い（FRAND 宣言）を巡って権利者と実施者が鋭く対立しています。またFRAND に係る各国裁判所等当局の判断も微妙な相違が生じています。</p> <p>本科目では、研究開発・標準化戦略の中に標準必須特許をどのように組み込み活用するか具体例と課題を交えて考察し、併せてIoT/AI時代の標準化とデータ利用の在り方についても解説いたします。</p>
レポート、演習の有無等	レポート課題はございません。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	<p>研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、2/7までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。</p> <p>（ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）</p>

知財ist研修2017シラバス

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>第一章 序論                  (1) 現在の日本の立ち位置を考察する                  (2) I O T の進展と標準化動向</p> <p>第二章 標準と特許との関係                  (1) 標準化の起源と重要性                  (2) W T O / T B T 協定                  (3) R A N D ( F R A N D ) の意義と問題点</p> <p>第三章 パテントプールと具体例                  (1) M P E G 2                  (2) A R I B デジタル放送                  (3) その他 ( バイオ・医薬分野 )</p> <p>第四章 R A N D を巡る最近の動き                  (1) E x - A n t e 方式の議論                  (2) 米国裁判所による R A N D の具体化                  (3) 我国知財高裁における R A N D の判断</p>	<p>第五章 次世代技術の標準化と知財権                  (1) G P S と世界の測位システムの現状                  (2) 準天頂衛星システム</p> <p>第六章 知財訴訟の現状と課題                  (1) 我国知財訴訟における裁判管轄                  (2) 知財訴訟における件数と審理期間                  (3) 知財訴訟における判決 ( 勝敗 ) 動向                  (4) 知財訴訟戦略の要点</p> <p>第7章 まとめ                  (1) オープン・クローズ戦略                  (2) 競争と協調</p> <p>補遺                  ・特許集約型ライセンスの試案                  ・プラットフォームライセンスの試案</p>
<p>参考書籍等</p>	<p>加藤 恒著「パテントプール概説 改訂版」 発明推進協会発行 2009年</p>	
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に行っている話や私見を交えて話されていて面白かった。</li> <li>・パテントプールと標準化がどのように関連しているのか、ライセンサーとライセンシーの各々が考慮すべきポイントが良く分かった。</li> <li>・現役の企業幹部の方が講師だったので、実経験や最近の具体例をまじえて説明していただき、大変勉強になりました。</li> </ul>	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。</li> <li>・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。</li> <li>・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。）</li> </ul>	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、5.5単位が認められる予定です。</p>	

2017.12.21